



平成25年度 天竜川水系 此田地すべり抑制工事



この工事は、地すべり指定区域である此田地区の地すべり防止対策として地下水の更なる低下を目指し、安全性を向上させる為、既設集水井2基に増打集水ボーリングを行い、地下水を排除する工事と小嵐第一砂防堰堤に堆積した土砂を除去し、砂防堰堤本来の機能を回復させると共に、三遠南信自動車道の盛土に再利用する目的で運搬する工事です。

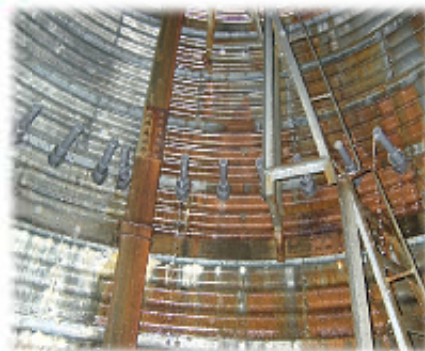


施工中は、工事車両の通行など地域の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。



直径3.5mの集水井内での作業です。坑内は外気温が30℃を超える暑さの中、気温が約25℃と涼しく意外と夏場は快適です。
ですが、削孔中は音が大きく狭くて作業は大変です。

WB-10 集水井
WB-10のNo.6の削孔を行った時の湧水状況です。40m削孔して発生した湧水で、地下水の除去という目的には良い結果ですが、作業には大変苦労しました。



施工が完了した状況です、既設の集水井2基に40mを12本と50mを12本、合計1,080mの集水ボーリングを施工しました。この写真はWB-10集水井の集水状況です。

昭和63年3月に完成した小嵐砂防堰堤です。この堰堤から1000mで静岡県との県境という場所に位置し、完成から約25年の間、降雨等により堆積した土砂を除去し、現在進められている三遠南信自動車道工事の埋戻し材や盛土材として再利用する為、18,900m³を運搬します。



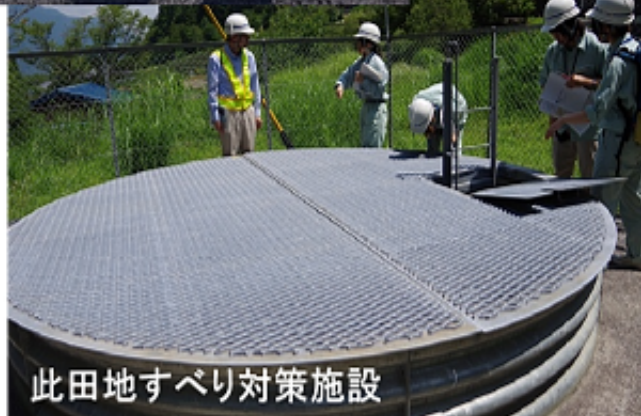
平成25年度天竜川水系 此田地すべり抑制工事
工期 平成25年5月11日～平成26年3月28日
概要 砂防土工 掘削・残土処理工 18,900m³
地下水排除工 集排水ボーリング工 1,080m
施工業者 池端工業株式会社
現場代理人 柳澤洋輔
監理技術者 緑川実男

キャンプ砂防2013 in天竜川 開催!



砂防を専攻または砂防に関心を
持つ大学生が
8月8日に
遠山川管内を訪れ、
中山間地の
暮らしを支える
砂防事業に
ついて学びました。

遠山地域の文化に触れ、砂防堰堤、地すべり対策施設を見学し、人々の暮らしに砂防が果たしている役割を、体感していただきました。



此田地すべり対策施設

「人と暮らしの伊那谷遺産」をご紹介します

〈お問い合わせ先〉
天竜川上流河川事務所 砂防調査課
(TEL:0265-81-6417)

◎NO.7 三信鉄道(さんしんてつどう)
所在地:新城市川合～飯田市川路天竜峡



▲ 万古川橋梁



▲ 天竜峡付近を走る特急伊那路号



(国土院の数字地図25000(地図画像)を使用)

現在のJR飯田線の「天竜峡～三河川合(愛知県新城市)(約70km)」区間で、1937(昭和12)年に全線開通しました。天竜川の侵食による険しい峡谷に沿って造られており、日本の鉄道史に残る難工事でした。美しく、厳しい自然の中を走るその姿は多くのファンを魅了しています。

三信鉄道の詳細な情報は下記をご覧ください

